



■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	新規企業立地等件数	件	—	—	4	5		4
2	市内事業者への連携支援件数	件	—	—	0	1		4
3	SDGsに取り組む企業数	社	3	R3	23	30		7
4								
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 企業活動が活発に行われている	重要度	1.18	1.24	それぞれの項目に対する重要度が高いのに対して、満足度はやや低い結果となっている。亀山商工会議所やハローワーク鈴鹿、亀山市雇用対策協議会等と連携した取り組みを行っているが、物価高騰や円安など厳しい社会経済情勢の中、その取り組みの効果が限定的になっていると推察される。
	満足度	▲ 0.17	▲ 0.11	
2 働く場が充実している	重要度	1.42	1.45	
	満足度	▲ 0.39	▲ 0.43	
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 多様な産業集積の促進	民間産業団地「亀山・関テクノヒルズ」を中心に、食品や産業ガスなど多様な産業を集積するとともに、操業支援を行った。今後、新産業団地の確保に向けた検討を進めていく。
② 既存企業の活性化	かめやまの事業所や市ホームページなどで市内企業の情報を広く発信し、事業活動の支援を行った。今後も、商工会議所や雇用対策協議会等と連携して取り組んでいく。
③ 雇用の創出と働きやすい環境づくり	亀山市雇用対策協議会やハローワーク等と連携して、新規立地企業や既存企業への雇用を確保するとともに、各研修会を通じて働き方改革の一層の推進を図られた。
④ 企業との連携によるまちづくりの推進	鈴鹿川等源流の森林づくり協議会を通じて、企業との協働によるまちづくりを推進した。SDGsの目標の「住み続けられるまちづくり」を目指すため、企業と一層の連携を強めていく。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

<p>多様な産業集積の促進については、令和5年度操業を開始した4社について、産業振興奨励制度の指定を行うとともに、既に産業振興奨励制度の指定を行っている3社について、産業振興奨励金を交付した。また、民間産業団地「亀山・関テクノヒルズ」においては、令和6年度において新たに3社の操業が予定されるなど、順調に進んだ。既存企業の活性化については、亀山商工会議所と連携した経営指導を行うとともに、冊子「かめやまの事業所」や市ホームページなどで市内企業の情報を広く発信した。また、市内10事業者で構成する亀山商工会議所環境委員会へ参画するなど、企業間交流や産学民間連携についても、まずまず進んだ。雇用の創出については、亀山市雇用対策協議会やハローワーク鈴鹿等と連携して、新規立地企業や既存企業への雇用を確保するとともに、各研修会を通じて定年引き上げに伴う高齢層の雇用推進を図り順調に進んだ。また、働きやすい環境づくりについては、働く環境づくり懇談会における意見交換、講座の開催、イベントでの周知等により、ワーク・ライフ・バランスに対する機運醸成につなげることができた。企業との連携によるまちづくりの推進については、市内企業34社と関係機関で構成する鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動を継続的に行った。全体としては、基本施策で設定した成果指標を既に達している項目もあり、概ね順調に進んでおり、基本施策が目指す姿に順調に近づいていると考えられる。</p>	<p style="font-size: 48px; font-weight: bold;">A</p> <p>順調に進んだ</p>
---	--

今後の展開方針

<p>本市の立地環境におけるポテンシャルを活かし、引き続き、既存企業の事業拡充や民間産業団地「亀山・関テクノヒルズ」の残区画への企業誘致を進めていくとともに、進出決定をいただいている企業を支援し、雇用の創出を図る。また、既存産業団地開発事業者である住友商事(株)と連携しながら、事業手法や資金調達、用地買収、道路や水のインフラ整備など、新たな産業団地の確保に向けた検討を行う。さらに、CSR活動や持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みを推進するとともに、脱炭素に向けた取り組みについても関係部署や商工会議所環境委員会と連携し、企業に対して促していく。雇用に関しては、亀山市雇用対策協議会、ハローワーク鈴鹿や亀山商工会議所など関係機関と連携して、一体的な支援を行うとともに、企業や労働団体など関係機関と情報交換を行いながら、働きやすい職場となるよう支援を行う。</p>
--